

理研会報

発行
理研会報研究部
事務局
成田市幸町248番1
成田小学校内

教研への取り組み特集

各研究会とも研究進む

各研究会ごとに五月ごろから計画を立て、現在、着々と研究が進められています。小学校低学年、高学年、中学校と三学科会に分かれての研究です。各研究会からテーマ、内容について紹介してもらいました。

一部会

二年目の研究 実践を通して

研究テーマ

① 身近な植物の教材化

興味をもって学習にとりくめる
力学教材の開発

小中とも本テーマにとりくんで二年目になる。

小学校では、植物教材における児童の学習上のつまづきを分析し、その対策を身近な植物の教材化、及び植物教材の継続観察の工夫の二面から考え、研究している。

教研究発表では、児童のつまづきの実態とその原因を明らかにした上で、その対策を実践例を通して提案したい。

中学校では、力学(一年)における学習上のつまづきを明らかにし、その対策として新たなテキストを作成したが、今年はテキストを再検討し、さらに興味ある実験や教材をつけ加えて提案したい。

二部会

地域の実態に即した生物教材の指導

小学校

「地域の実態に即した生物教材の指導」ということで、昨年度はカタツムリ、モンシロチョウの入手方法について調査し、各校の実情が明らかになった。本年は、各校の実情に合った実践報告を中心に地域性を生かした授業の流し方等比較検討して、今後の指導のよりよい方向をさぐってみたい。

中学校

「地域の自然の教材化」ということで昨年は一年目、とりくんだが今年は同主旨で「水中の微生物」(中一)、「土壌動物」(中三)に

焦点をあててとりくんでいく。二部会周辺のどんな場所にもどんな生物があるかなども調査し、授業に使えるようにしたい。同時にこの分野における位置づけを確かにしたいと考えている。

三部会

自然に働きかける子ども

研究主題 小学校

・自然に働きかける子どもを育てるために、理科学習をどう進めたいだろうか。

地域の自然が大きく変わりつつあるが、校外に一步ふみ出せば子ども達が学べる自然はまだあちこちに存在している。しかし、学ぶ自然があっても子ども達が自分の目耳手足(五感)を使い、生き生きと自然に働きかけていく実践力は貧弱になっている。その点を克服させたいと考え、右のテーマにとりくむことになった。

研究主題 中学校

・地域の自然の教材化

昨年度までは「生物どうしのつながり」を中心に土壌動物の教材化を図ったが、本年度からは「生物の種類と生活」、「体のつくり」とはたらしを中心に両棲類(主にカエル)の教材化を図りたい。

四部会

新しいテーマを模索中

昨年まで三か年をかけ「興味をもって学習に参加できる天体教材の指導」のようにしたらよいかなをテーマに取り組んできました。

その結果、学力テスト等にその成果をみるに至り、教師の不断の研究の重要さを改めて感じております。

そこで本年度より、新しいテーマのもとに研究をすすめていくことになりました。ところが本部会の特色として小中一貫したテーマのもとに、全研究員が取り組むことを前提としていますので、現段階では、具体的な内容、方向については、決定にまではいたっておりません。

本部会としては、あせることなく、地域の実態に即した研究をすすめていきたいと考えております。

五部会

観察教材の効果的学習指導

「地域の実態に即した観察教材の効果的学習指導のあり方はいかにあるべきか」という主題で研究に取り組み始めて今年で三年目になる。取り上げている単元は「季節と生きもののようす(小3)」、「植物どうしの関係(小6)」、「地層のつくり(中3)」である。昨年は、いずれも指導計画の作成が中心であった。地域の自然を教材として取り入れた時の効果は大きいであろうと考えているが、直接現場での学習が可能な学校とそうでない学校がある。私達は、それぞれの場合を想定して指導計画の中味を検討してきた。

今年の実践段階にきている。いくつかの学校で授業研究を行い、その記録を発表する予定である。また現場学習を取り入れた授業とそうでない授業を比較検討し、その効果などを分析してみたい。

私の実践

自然を教室に呼びこむ努力

八街町立実住小 麻生れい子

か持っていないようでした。

へ指導にあたっていました。

「自然への関心や情熱を高め、発達段階に応じて科学的思考力を伸ばすための指導過程は、どのように構成すればよいのか」へ主題にせまるために、二年、水の中の生きものをさがそうでは、特に児童達が興味関心を引く素材を地域の中から見つけ出し指導計画の中に位置づけて、指導していくことが大切であると思われまふ。そこで、特に水の中の生き物でもザリガニなら児童達にも興味があり、児童達の手に入るものだろうと思い、ザリガニを素材にしました。ザリガニを主に扱い、他の生き物もザリガニと同じように生活するのに都合のよい体のつくり、動きをするものであつた。このことから、低学年では自然の事象、現象を直接五感を通して捉えさせ、好奇心を揺り動かして満足させる学習過程を数多く経験させることにより、研究主題にせまることができると思われまふ。

生活の中で得たヒントをもとに、製作させていきたいのです。ぜひがんばって作らせてください。観察や実験調査なども、研究の筋道やデータを明確にして、まとめ方など工夫させてみてはどうでしょうか。よい作品がたくさん集まることが期待しています。

このことから、低学年では自然の事象、現象を直接五感を通して捉えさせ、好奇心を揺り動かして満足させる学習過程を数多く経験させることにより、研究主題にせまることができると思われまふ。

このことから、低学年では自然の事象、現象を直接五感を通して捉えさせ、好奇心を揺り動かして満足させる学習過程を数多く経験させることにより、研究主題にせまることができると思われまふ。

このことから、低学年では自然の事象、現象を直接五感を通して捉えさせ、好奇心を揺り動かして満足させる学習過程を数多く経験させることにより、研究主題にせまることができると思われまふ。

このことから、低学年では自然の事象、現象を直接五感を通して捉えさせ、好奇心を揺り動かして満足させる学習過程を数多く経験させることにより、研究主題にせまることができると思われまふ。

このことから、低学年では自然の事象、現象を直接五感を通して捉えさせ、好奇心を揺り動かして満足させる学習過程を数多く経験させることにより、研究主題にせまることができると思われまふ。